

もういくつ寝るとお正月・・・と聞こえてきそうにお正月も間近になってきました。

今年の8月の長雨で農産物もかなり被害が出ているようですが、今では何事もなかったように冬の訪れがやってきます。

ふるさと地域では特産の黒豆の自然乾燥風景がところかしこに見られ、季節の風物詩のようになってります。



■中世木地区



日吉ダムから府道364号線を東に進んでいくと、どこかで見たような大きな『へんな生きもの』に遭遇・・・実は、ここから中世木地区ですよ～と教えてくれる看板です。スタジオジブリ制作のアニメーション「となりのととろ」かな？ う～ん、よく見ると 違う！ 違う！ 違う！ なんと、ヒゲが無い、スキッ歯、赤いおヘソがある!!! ついでに鼻が白いときている。製作者さんのご苦勞をおもんばかってしまう。写真では判りにくいですが、電信棒と電信棒の間に『かわいい生きもの』を発見。どんな生きものかは、来てのお楽しみとさせていただきます。

■生畑地区

急に寒くなりました。霜が降りた野菜たちに頑張れ、甘くなるんだ、美味しくなれよと“暑いエール”を送りながら、寒さで震える手でパチリ！霜が降りると野菜が甘くなる???早速パソコンで検索してみたら、凝固点降下が関係していると書いてある。細胞中の水分が凍らないようにデンプンを分解して多数のブドウ糖などにするから0℃でも凍らないということ。だから甘くなるんだ・・・納得。

今晚は、暖かいお鍋で温まろう。



■高岡地区



今年の柿は昨年と比べて成年で豊作でした。獲らず樹についている柿も秋の終わりを告げる風物詩になります。



竹野小学校です。集会場や高岡周辺のコミュニティーの拠点です。

■大野地区

2週間前来たときは紅葉しておりとてもきれいな眺めでした。今は葉は散り去り見違えるほどの景色となっています。

急に冷え込みが厳しくなっている今日この頃。

秋になると落葉樹の葉は枯れ落ち、栄養をつくる大事な仕事が終わると春から秋に蓄えていた栄養分で冬を越します。このように動物のように冬眠するんですね！自然界は奥が深いですね。



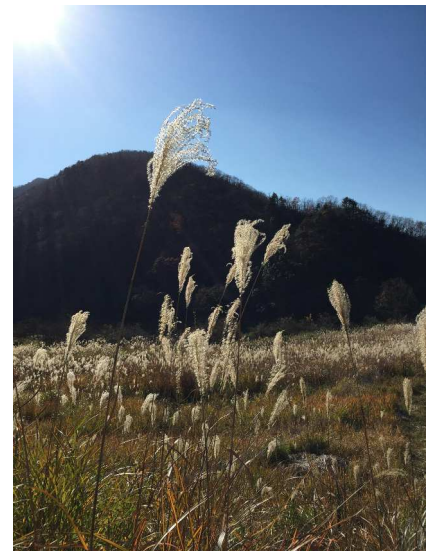
■西河内地区

太陽に浴びたすすきたちが群生しています。

すすきの豆知識！

かつては茅（かや）と呼ばれており農家の屋根（茅葺（かやぶき））の材料に用いたり、家畜の餌と利用されていたようです。そのため集落の近くに定期的な刈り入れするすすきの草原がありこれを茅場（かやば）と読んでいたそうですよ。

すすきは、今の時期しか見られないのでこちらに遊びにこられた際は、一度来てみてはいかがでしょうか？



■長瀬地区

毎度同じことなのですが、愛情いっぱい詰まった玉手箱のようにたくさん野菜が入っていますよ。

生産者さんは毎回お客様の喜ぶ顔を思い浮かべながら箱詰めしているそうです。お客様にも喜んでいただけるかと思えます。こちらとしてもこの企画を6年やらせていただいておりますがとてもやってきてよかった改めて感じます。

生産者さんから「今年は雪が早く降るのでは？」とっておられました。

次回お楽しみ！



2012年は12月11日に大雪に見舞われました。

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすそ分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 12月18日 現在 99名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail info@shinofarm.jp

ふるさと野菜のおすそ分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>